

青年協ニュース

全国の取り組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX：03-3875-6270 か seinen@irouren.or.jp まで

*このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送っています。

「最賃」生活にげんない…

でも、県や産別越えた交流も良かったよ！

京都では、今年も5月23日～6月22日までの1ヶ月間「最低賃金」生活に取り組みました。去年の取り組みでは、時給677円から678円と1円アップを勝ち取ることができました。今回は医労連から11名が参加。その報告会&バーベQ交流会が7月10日に、関西ブロックメンバーの参加もあり、多いに交流しました。苦しい生活を体験したあとのBBQは格別でした。

今回、関西ブロックメンバーに限らず、他産別の青年部と交流し、1ヶ月間の生活を振り返りました。最賃生活を体験し、最低賃金の底上げを訴えるだけでなく、県を越え、産別を越え交流できた事は今後、京都の青年部にとっても他産別の次世代を担う青年にとってもとても意義のあるものになりました。

今後も京都医労連青年部として、何事にも積極的に奮闘していきたいと思います。今回の最賃生活の報告集は完成次第、日本医労連に送らせていただきますので、よろしくお祈いします！！(京都医労連青年部部長 北川理恵)

※できあがった報告集については、各組織1部は青年協として下ろしたいと思います。



京都総評青年部が行った「げんない最賃伝説第二章」の中味については、以下のHPもご参照を体験者の日記なども公開されています。

<http://www.onestep-web.com/saichin/index.html>

こちらは、埼玉労連青年部の最賃体験のページです。ブログもあります。

<http://www.saitanet.or.jp/saioren/seinenbu/050303.htm>

こちらは、北海道労連青年協議会のページです。「最賃ヒキアゲルンジャーⅡ」の情報満載

<http://www.phoenix-c.or.jp/~dororen/>

こちらは、神奈川労連青年部の最賃体験のページ

<http://www015.upp.so-net.ne.jp/kanagawaroren/SAITIN/top1.htm>

「最低賃金」引き上げろ！

北海道の青年ら、638分の怒りのハンスト行動！

(ハンガーストライキ)

今年10月の最低賃金改定に向けた審議がよいよ本格化しています。全国の最低賃金決定に大きな影響を及ぼす中央最低賃金審議会の「目安」小委員会がひらかれた7月14日、「働けば暮らしていける」最低賃金の確立を求め、北海道の青年らが、北海道労働局前での「怒りのハンスト638行動」に突入しました。



行動に立ち上がったのは、この3月、道労連青年協のよびかけに応じて「最賃生活体験」に参加し、現行の「時間額638円」の最低賃金で実際生活が可能かを体験した結果、「月11万円では自立生活は困難」「とても人間らしい生活はできない」とし、「会社でがんばる気力も萎えてしまう。これは企業にとっても損失のはず」とレポートをまとめた「炎の最賃チャレンジャー」のメンバーを中心にした若者たち。北海道医労連青年協からも3名が参加しました。

ハンストは14日(木)朝8時から、北海道の最低賃金638円をもじって「638分間」(10時間38分)にわたり、最低賃金を決める北海道労働局前で行われました。行動では、時間額1000円以上の最賃を求めて、「1000回腕立てふせリレー」や労働局周囲でのパレードなど、終日、市民へのアピールを行いました。通りすがりの道民の中には、立ち止まり、募金をしてくれる人もなりました。

また、中央最低賃金審議会の委員会が開かれた厚生労働省前でも、中央行動(ハンスト行動や政府交渉)が行われ、同じく「最賃体験」を行った京都総評の仲間なども、参加しました。お昼の集会では、北海道でのハンストの現場から「生のメッセージ」も届き、臨場感あふれる集会となりました。

また、中央最低賃金審議会の委員会が開かれた厚生労働省前でも、中央行動(ハンスト行動や政府交渉)が行われ、同じく「最賃体験」を行った京都総評の仲間なども、参加しました。お昼の集会では、北海道でのハンストの現場から「生のメッセージ」も届き、臨場感あふれる集会となりました。

(北海道労連HP・北海道医労連油石博敬さん、全労連青年部布施恵輔さんなどの情報より)

青年協ニュースの充実・青年部活動交流のためには、みなさん方からの情報提供がかかせません。作成したニュースはもちろん、今後の予定でもかまいません。メールやFAXなどをお願いします。